

二階俊博会長より



土地改良の世界は、男女共同参画について非常に遅れをとっているところ。できない理由を並べるのではなく、できる方策を見つけることが大切。土地改良区の女性理事10%の目標達成に向け、連合会が中心となり、まったなしで取り組んで頂くようお願いする。

農林水産省より

土地改良区への女性理事登用に向けて、都道府県ごとの土地改良区運営基盤強化協議会において行政と連合会が連携して伴走型の支援を行う体制をつくる。連合会には、土地改良区に対する指導業務の一環として旗振り役を担っていただく。



社会保険労務士法人 飯田事務所 所長
特定社会保険労務士 飯田統一氏

- ・昭和21年に女性議員は39名当選していたことはすごいこと。男女共同参画は、戦後の困難な時代に既にスタートしていたのではない。
- ・重要なのは、実際に休暇制度などが職場に取り入れられているか、誰でも申請・利用することが可能になっているかどうか。
- ・男女共同参画の取組は職場だけでなく、まずは家庭での取組が大切。
- ・男女共同参画について、男性に任せておけばいいというものではない。女性が努力して、勉強して、仕事ができるようになっていけば、信頼され、上の評価も変わってくる。勇気と努力が必要だが、心あるひとは見ていてくれる。

- ・「チャンスは男性と同じように差し上げる」経営トップが社員に向けてメッセージを発信、率先して進めていく姿勢を示したことで清水建設の取組が加速した。
- ・男女共同参画は男性と女性が一緒に進めていくことが大事。「水土里ネット女性の会」も男性が自分事と捉えて一緒に進めるのがいい。
- ・アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を知ることで、思い込み（育児・介護があるから出張はできない等）が見えてくる。
- ・土地改良区の女性理事登用は「実力のある女性が理事になっていない」という現実を変えようとする。
- ・女性もスキルを磨いて組織に貢献する意識を持ち続けることが重要。



清水建設株式会社
人事部ダイバーシティ推進室長
西岡真帆氏

コラム 「全国水土里ネット女性の会」新役員紹介(R4・4.1)

会長：根本由紀子（あきた水土里ネット女性の会会長 かつの土地改良区事務局長）
副会長：西 彩（水土里ネット熊本菊池・阿蘇支所支所長）
副会長：今枝愛子（水土里ネット愛知総務課係長）
事務局長：野口直子（全国水土里ネット土地改良広報センター主査）

【敬称略】

室本専務よりエール

- ・今回の講演には全国から多くの方が来場され、女性の会会員や都道府県土連職員と全土連職員との交流も一気に深まりました。
- ・土地改良関係者間の男女共同参画に対する意識が深まり、ベクトルが変わったことの表れと捉えています。
- ・土地改良には多様な人材が必要です。
- ・今年は運動の本格的スタートの年。これを機にそれぞれの立場で、男女共同参画の実現に邁進しましょう。



左から今枝副会長、根本会長
全国水土里ネット室本専務理事
西副会長、野口事務局長

◇根本会長のマイブームは
「家庭菜園」です